

ドットプロッター (スロットタイプ)

DB-100

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。  
お使いになる前に、この説明書をよくお読み下さい。

**SAMPLATEC**  
As your partner in laboratory

#### 4. 仕様

ドット数	:	6×8 (ドット)
メンブレンサイズ	:	75×90 (mm)
サンプル体積	:	max. 600 (μl)
使用温度範囲	:	0～50 (℃)
外形寸法	:	プロッター W147×D129×H62 (mm) 吸引チャンバー W172×D150×H100 (mm)

#### 5. 保守

1. フィルターと接触している2面（ベースセクションとアッパーセクション）を絶対に傷つけないよう注意して下さい。僅かな傷でもサンプルリークの原因となります

##### 2. 耐薬品性

ユニットはアクリル樹脂でできています。よって一般の電気泳動用バッファーに対する耐性は持っていますが、芳香族化合物、ハロゲン化炭化水素、ケトン、エステル、アルコール（30%以上）、濃酸（25%以上）に対する耐性はありませんので、それらの溶媒やその蒸気にはさらさないで下さい。

詳しくは当社カタログ巻末の“耐薬品性一覧表”を御参照下さい。

##### 3. 耐熱性

アクリル樹脂は50℃を越える温度にさらすと、僅かにたわむことがあります。歪みは僅かですがそれはユニットの性能に影響を与えることがありますので、高温下での使用はさけて下さい。

##### 4. 洗浄

超音波洗浄槽を用いて洗浄するか、多量の水と研磨剤を含まない洗剤で穏やかに洗浄し、蒸留水で流した後、軟らかい布やティッシュを使って乾かして下さい。

シールテープの粘着剤やグリース等は灯油または脂肪族ナフサで穏やかに拭いて除去して下さい。

# ドットブロッター DB-100

(スロットタイプ)

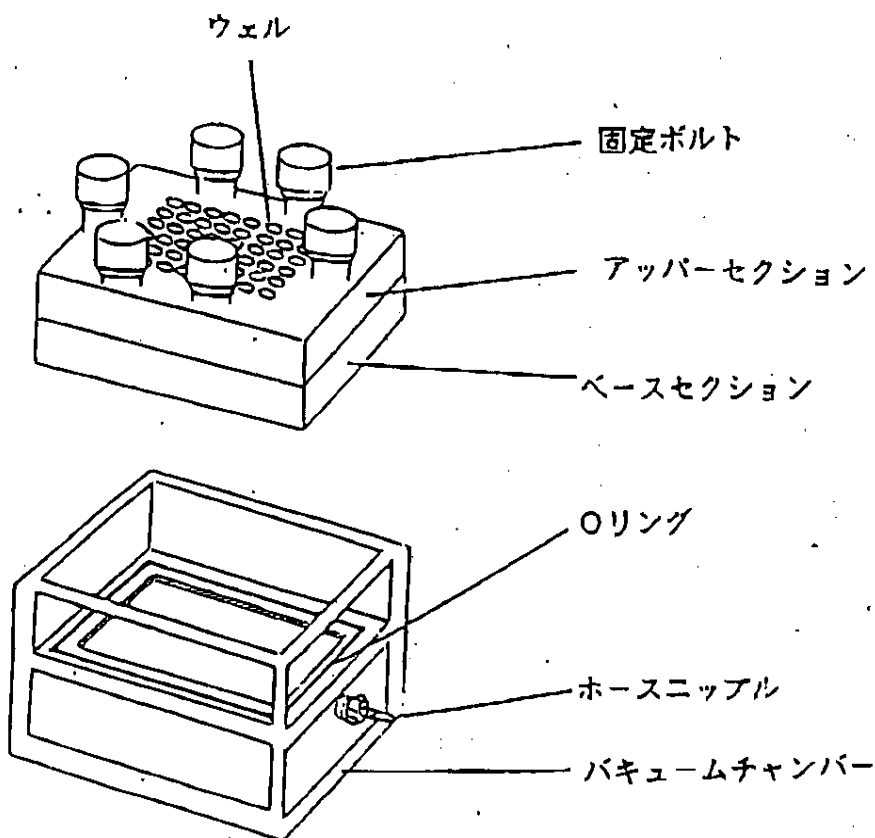
“ドット・ハイブリダイゼーション技術”は、特殊シーケンスを持つ核酸やタンパク質サンプルを検出するための、リコンビナント・クローンのスクリーニングに簡単で効率的な方法を提供しました。

本製品はその特異的なフィルター形状（楯形）により、デンストメーターによるサンプル定量をより正確にしました。

ドットブロッターは種々のDNA・RNA及びタンパク質のハイブリダイゼーション技術に使用できます。

- ニトロセルロースメンブレンを使用した吸着固定
- ジアゾ化ペーパーを使用した共有固定
- DEAE・CMセルロースイオン交換メンブレンを使用したイオン固定

## 1. 各部名称



## 2. プロッターの組立て

1. 固定ボルトを外してアッパーセクションを取除きます。
2. アッパーセクションのスロットサイド(底面)に予めバッファーで平衡化しておいたメンブレンを注意深くセットします。  
もし気泡が入ったときは、グローブをはめた手で追出して下さい。  
スロットサイドを絶対に傷付けないよう注意!
3. メンブレンの保護及び乾燥防止のため、メンブレンよりも少し大きめに切所した厚手の紙(0.3mm程度)を予め同じバッファーで平衡化し、ベースセクションの上にセットします。
4. 底面にメンブレンをセットしたアッパーセクションを紙をのせたベースセクションの上にかよせます。  
このとき気泡が入らないように注意!気泡はサンプルの拡散をまねきます。
5. プロッターの各固定ボルトをステンレスロッドを用いて均一に締付けます。

## 3. 操 作

1. バキュームチャンバーの所定の位置にホースニップルを取付け、バキュームホースをバキュームまたはアシレーターに接続します。
2. プロッターをバキュームチャンバーにセットします。  
このときプロッターとチャンバーの間に隙間ができますが、プロッターとチャンバーはOリングによって完全にシールされます。
3. バキュームの電源をONにします。
4. プロッターとOリングが完全にシールするようプロッターを軽く押込みます。
5. サンプルを各ウェルにロードします。  
スロット間の距離はマイクロタイター配列に合わせてあるので、市販のマルチチップピペットが使用できます。  
また使用しないウェルにはシリコンシート等をかよせてエアが抜けないようにします。
6. サンプルが完全にフィルトレーションされたことを確認してからバキュームの電源をOFFにします。
7. プロッターをバキュームチャンバーから取出します。  
取出しにくいときには、ホースをニップルから緩めてチャンバー内にエアを入れます。
8. 固定ボルトを緩めてプロッターを分解し、メンブレンを取出します。